

ネ イ ホ ウ

你好

～香港日本人学校小学部香港校より～



影井 真樹
平成 23 年度派遣 津ノ井小

1 はじめに

今年の 4 月から香港に赴任して、4 ヶ月余り。まだまだ生活に慣れたとは言いづらいところもありますが、この間に分かった香港の町や香港日本人学校小学部香港校の様子について、お知らせしたいと思います。活気のある香港の町や学校の様子が少しでも分かっていたけるとありがたいです。



太平山頂(ビクトリア・ピーク)
より町並みを望む

2 香港の様子

香港は正式な国名を「中華人民共和国香港特別行政区」といいます。中国の南東部に位置する人口約 700 万人の大都市です。緯度的には、北回帰線の南側に位置し、ハワイ、メキシコシティー辺りと同じ緯度にあります。

超高層ビルが立ち並ぶ世界的な金融と貿易の都市であり、ショッピングと飲茶の活気に満ちた観光大都市でもあります。

町では、イギリス領たった頃(1997 年まで)を思い出させる二階建てバスやトラム(路面電車)が、通りにせり出した巨大な漢字の看板すれすれを通る様子を見ることができます。

公用語は、広東語と英語の二つです。公共の場所やショッピングモール、また、タクシーなどでは、英語も使えますが、ほとんどの人は広東語で生活しているので、現地の店に行くと英語が通じず、広東語でのコミュニケーションが必要となります。広東語は、北京語の方言なのでは？と思っていましたが、発音だけでなく漢字の表記から異なるので、これから勉強していきたいと思っています。

さて、世界第 2 位といわれる人口密度の香港では、町中に人が溢れとても活気があります。その中を歩いていて日本と、そして鳥取と少し違うなど感じる場合があります。それは、お年寄りや身体の不自由な人たちが、たくさん町を歩いているということです。杖をついていたり、家族に身体を支えられながら、買い物をしたり散歩をしたりしている人が多いように思います。ほとんどの人がマンション住まいであり、町にエレベーターやエスカレーターが多いのも関係していると思いますが、お年寄りや小さな子どもを連れてしていると、優しく声をかけてもらえる、そんな優しい雰囲気をもった、みんなに優しい町だからだろうと感じます。



香港特別行政区区旗に使われている
バウヒニアの花

3 香港日本人学校小学部香港校について

香港日本人学校は、主に香港島を校区とする小学部香港校と、九龍・新界といった大陸を校区とする大埔校、そして香港全体を校区とする中学部という3つの学校で構成されています。

その中でも、小学部香港校は、香港島の北側、ハッピーバレーという丘の上にあり、香港らしい大都会の街並みを見下ろすことができます。現在、児童数は445人です。

校外学習

本校の特色の一つは、充実した校外学習です。校外学習を多くできるということは、香港が安全で暮らしやすい町だということを何よりも物語っています。校外学習によって、香港の文化に直接触れ、理解を深めることができます。内容は、1年生から5年生までで行われる現地校との交流をはじめとして、それぞれの学年の学習内容に合わせて、清掃工場やコンテナヤードの見学、5年生での中国広州への宿泊学習や6年生での上海への修学旅行など様々です。

ここではその中でも、「トレイル」を紹介します。平野が少なく山が多い香港の地形を利用して「トレイル」と言われる山歩きの遠足が各学年で行われています。大都会にいながら、自然に触れられるトレイルは、香港の人たちにも人気があり、各地にあるトレイルのコースを合計すると50キロにもなるといわれています。校庭がなく、運動する機会が限られている本校の児童にとっては、自然に親しみながら、体力をつける大切な機会となっています。



様々な校外学習を通して、香港の人や文化に直接触れることで、香港と日本の良さについて体験的に学ぶことを目指しています。

英会話学習

1年生から6年生まで週3時間ずつ行われている英会話の授業も特色の一つといえます。各学年(3学級)の子どもたちを習熟度別に6つのクラスに分けて、少人数でネイティブの先生が授業を行っています。先生方の出身地もイギリスやニュージーランド、カナダなど様々です。

また、4年生以上で行われている図工イマージョン(英語での図工の授業)も特色といえます。かつてイギリス領だった香港では、広東語とともに英語も公用語とされているため、このように英会話を学ぶことは、生活に直接役に立つコミュニケーション力をつけることになります。

特別支援教室「にじいろ教室」

特別な支援を必要としている子どもたちのために、特別支援教室「にじいろ教室」を設置しています。通常学級での学習を基本としながら、必要に応じて個別や少人数で、一人一人の目標を達成できるように学習を進めています。独立行政法人特別支援教育総合研究所と連携を取りながら、指導法の工夫・改善や保護者の教育相談なども行っています。

4 おわりに

まだ香港に赴任してからの日が浅いため、十分に香港の様子をお伝えできませんが、機会があれば、学校行事の様子をより詳しくお伝えしたいと思います。なお、学校の様子はホームページ(<http://www.hkjs.edu.hk/~hkjspri/index.html>)に掲載していますので、ご覧ください。